



## 総会報告

報告が大変遅くなりましたが、本年度の総会が2月23日(土)白雲館2階にて、10名の出席と12名からの委任状の提出のもと開催されました。昨年年度の事業報告と決算報告が提案され、葦うどんについての質疑応答を経て全会一致で承認されました。続いて、役員の変動についての報告があり、2名が退会とともに役員を辞されました。その後、本年度の事業計画と予算について協議され、特に葦うどん事業の今後について話し合われました。

当初予定していましたが総会終了後の藤井悦子さんの講演会が都合により出来なくなり、当日同じ時間帯に開催されました。参加することになりました。途中からでしたが、米原公民館の高見さんの講演を聞いた後、交流会にもそのまま参加し、他の団体の方々とも親睦を深めることが出来ました。雪が降り積もる中、の総会でした。

## 今年度各事業の日程について

先般、今年の事業について日程などの調整をしました。年初事業計画とは一部変更していますが、次の通りに決定しましたのでご参加、ご協力のほどよろしくお願します。

### ① 体験イベント「西の湖と葦を学ぼう」

【日時】5月31日(土) 9時30分～14時30分  
【場所】びわこ揚水土地改良区



昨年に続いてびわこ揚水と共催します。内容については同封のチラシでご確認ください。当日は子どもたちの引率や昼食の準備など、たいへんになりますが、よろしくご協力願います。同封の連絡表にて参加の有無をお知らせください。

**参加者大募集!!**

5月31日(土) 体験大会  
**西の湖と葦を学ぼう!**

◆西の湖のつづみを学ぼう  
◆ヨシとんぼとヨシのアイリスの観察会  
◆びわこヨシトンボとヨシトンボの観察会

西の湖 北之庄 長命寺川 山本川 八幡場川 三明川

募集人数 30名 (小学生以上)

申込方法 申し込み用紙をダウンロードし、お申し込みください。

持ち物・服装等

主催 秀次倶楽部

主幹 山本 びわこ揚水土地改良区

### ② 金魚すくい大会

【日時】7月5日(土) 午後から  
【場所】観音山・願成就寺

今年度は京街道などの商店街近辺で催される七夕まつりに合わせて開催します。詳しいことはこれから詰めていきますが、これについてもみなさんの予定をお知らせください。

### ③ 秀次講演会と琵琶コンサート

【日時】9月13日(土) 午後から  
【場所】八幡公民館(未定)

京都瑞泉寺のご住職の講演と金森さんの琵琶コンサートを同時に開催します。現在は金森さんの予定が微妙な状況ですが、時間帯を調整していければ可能だそうですのでご期待ください。

### ④ 葦うどん事業

今年も葦の刈り取り作業を5月下旬から行います。各自で都合の良い日に作業をお願いしたいと思っております。連絡頂ければ刈り取り場所や方法などを案内します。また、うどんやせんべい、アイスクリームの他に葦を使った食品などを地域の関係業者にも協力を求めながらいろいろと試してみたいと考えています。

### ⑤ 八幡てんびん祭りなどの参加

てんびん祭りの開催もまだ決まってははいないようですが、あるとすれば8月の第一日曜日です。依頼がありましたら今年度は金魚すくい以外のことで出店する予定です。その他の催しはその都度連絡いたしますのでよろしくお願します。

## ロハス大賞(経済同友会) 奨励賞受賞

滋賀県経済同友会が募集されました「ロハス大賞」に葦うどん事業を応募したところ二次審査まで進んで奨励賞を頂きました。これを機に、もっと地域に広がっていくように仕掛けていければと思います。

\*「LOHAS(ロハス)」とは、健康と持続可能なライフスタイル「Lifestyles of Health and Sustainability」の略です。

## 会員名簿について

現在の会員の名簿を同封します。氏名、住所、電話番号などに間違いや変更がありましたら、連絡表の最後に書いて下さい。また、ファックス番号や携帯電話の番号も差し支えなければ書いて下さい。

## 会費納入について

今年度の会費が未納の方は、至急に事務局にお持ちいただくか下記に振り込んでください。なお、昨年の会費についても未だの方はいつしよにお願いします。

### 【振込み先】

滋賀中央信用金庫(店番) 180  
(口座番号) 0221141  
特定非営利活動法人 秀次倶楽部  
理事長 高木茂子



## おぼりばたひろば

会員の皆様からのおたよりを紹介いたします。

近江八幡の美しい条里のたたずまいや往時のままの町名、周辺のみずみずしい景観。加えて、住まう人々の暖かい心ゆきは訪れる者を深く魅了してやみません。今年、滋賀県東部観光物産情報センターを定年退職したばかりの私にとりまして、またとない深いご縁を結ばせていただいた。この4月も「行春やあふみの人と惜しむける」の芭蕉の気持ちのままに、長逗留をさせてもらいたばかりです。

秀次倶楽部の数々のプログラムの中でも、琵琶の音色とともに演じられた、哀切非業な物語と展示された罪なき人々の道行きの絵巻は胸に響きわたりました。八幡堀あたりを行き交うたくさんの旅行者と朝からせせと草取りする市民のにこやかな挨拶風景を見ながら、次はいつ行けるかしらと心が弾みます。

2008年4月23日 関恵子

